

長野エリア観光戦略研究委員会

【長野市観光振興審議会資料】

2025年10月23日（木）

観光文化部 観光振興課

FEEL NAGANO, BE NATURAL

この街で、わたしらしく生きる。長野市

1 設置目的

令和9年に開催する善光寺御開帳を見据え、外国人旅行者を含む観光客に訴求する観光コンテンツの開発を通じて地域経済の活性化を図り、新たな観光事業者の創出を目指すため、令和7年5月に「長野エリア観光戦略研究委員会」を立ち上げ、様々なプレイヤー（官民一体）とともに観光客に選ばれる「観光都市ながの」の実現に向けた取り組みを行う。

2 組織構成

長野市、長野商工会議所、ながの観光コンベンションビューロー

3 組織目標

- ① 既存のコンテンツを高付加価値化し、インバウンドを含む観光客に訴求するコンテンツの研究・開発
 - ✓ アクティビティコンテンツ（文化財、自然、体験）の開発
 - ✓ 祇園祭などの祭りを新たな観光コンテンツとする研究
- ② スポーツと観光を融合（スポーツツーリズム）させた取組みの研究
 - ✓ スポーツイベントの観光資源化（長野マラソンへのインバウンド誘客）
 - ✓ スタジアムの観光地化とする調査・研究
- ③ 観光に携わる事業者の情報共有を図る機会の提供
 - ✓ シンポジウム、ワークショップの開催
- ④ 魅力的な観光コンテンツを創出し、新規観光事業者（ランドオペレーター）の参入促進
- ⑤ 広域観光の視点にたったコンテンツ開発及びプロモーション

1 令和7年度事業計画

① 事業全体のコーディネート

- ✓ 事業実施に当たっては、観光全般に精通している専門的知見を有する有識者の助言が必須で、国のコンテンツ造成事業においても有識者による伴走支援事業が多い。
- ✓ 昨年度の松代真田家400年の歴史コンテンツ事業をコーディネートした実績のある立教大学客員教授「永谷亜矢子」氏に依頼

② シンポジウムの開催「長野観光みらい会議」

期　　日：令和7年7月29日（火）午前11時～14時30分

会　　場：ホテルメトロポリタン

テ　ー　マ：第1部「2027年の御開帳を契機に。長野市の観光を考える」
第2部「インバウンド戦略のポイントと求められる体験価値とは？」

来場者数：180名



【参考】

✓ 観光事業者、交通事業者、宿泊事業者、金融機関、報道機関、教育機関、自治体等

【目的】

✓ 有識者のアウトプットを通じて、国内観光の最新動向や課題を把握し、知見を深める。
✓ 参加者同士のネットワークを構築し、連携を強化する場を提供する。

【シンポジウム参加者主な感想】

✓ 既存のコンテンツもストーリー性を作りだせば高付加価値な商品となるヒントを得た
✓ 観光は基礎自治体でなく広域で展開することの重要性を認識した
✓ 外国人が地方へ行きたいと思っても、探せない、申し込めない状況について考えたい

③ やきもち家の在り方

- ✓ 8/7有識者（村山氏：R6年度文化庁事業有識者）との現調（施設の在り方、設えの選定等）
 - ・施設的、立地的（二次交通がない）にもターゲット層は、国内旅行者向け
 - ・「田舎に来た」感を出す。
 - ・春夏/ファミリー層向け、秋冬/ラグジュアリー層向け
 - ・棚田等を活用したコンテンツ開発（棚田での軽食提供、囲炉裏でのウィスキー等）

④ 既存の体験型コンテンツ高付加価値化事業

- ✓ 体験コンテンツの洗出し（ランオペ有無、提供期間等を含む）
- ✓ 体験コンテンツを高付加価値化するためのブランディング
- ✓ ターゲット層の選定
- ✓ モニターツアーの開催
- ✓ 開発した体験コンテンツのプロモーション

⑤ 効果的なプロモーション

- ✓ 委員会でインスタグラムのアカウントを持ち、ターゲット層にあった発信を継続して行う。※主にインバウンド向け

⑥ 松代真田家400年の歴史コンテンツプロモーション

- ✓ コンテンツパンフレット作成、殿様御膳紹介パンフレット作成、LP更新

＜令和7年度ツアー催行状況＞

- ・期日等：10月14日(火)、15日(水)、20日(月)、23日(木) ※2社
- ・内 容：国内向け高額ツアー：文化財ガイド(まちのベイト)、殿様御膳ランチver

令和7年度予算

1 令和7年度予算額（案）

予算額：15,000千円（重点支援交付金活用）

内 容：予算の振り分けは、事業内容によって変動

内 容	予算額（案）	備 考
【アドバイザー費用】		
・アドバイザー契約	3,000,000 円	時間報酬、シンポジウム講演費用等
・コンテンツアドバイザー	1,000,000 円	松代コンテンツパンフ・LP等監修、販路
【コンテンツ造成費】		
・コンテンツ開発（プロポーザル）	3,000,000 円	コンテンツ洗出し、マネタイズ、各種調整等
・モニターツアー	500,000 円	モニターツアー参加者旅費等
・やきもち家有り方検討	1,500,000 円	ターゲット層選定、施設の方向性、設え選定
【プロモーション費】		
・サイト掲載、リール動画作成	4,000,000 円	
【シンポジウム開催費用等】		
・会場費等	2,000,000 円	シンポジウム（会場費、撮影費、PRタイムズ）、ワークショップ開催費用
計	15,000,000 円	